



あきつ



第31号
令和8年3月2日
校長 田上 明男

笑顔と涙がはじけた「6年生を送る会」

2月27日（金）、あいにくの雨により送別遠足は中止となりましたが、体育館ではその悔しさを吹き飛ばすような熱気あふれる「6年生を送る会」が開催されました。

会の冒頭、私は子どもたちにこう伝えました。「遠足が中止になった分、この会で思いきり楽しみましょう。そして、今日まで準備してきた出し物を通して、『ありがとう』『中学校でも頑張る』という気持ちを届けましょう」と。

各学年の出し物はどれも趣向を凝らしたものばかり。ステージのひな壇に座る6年生は、下級生の一生懸命な姿に一時も目を離せません。体育館中が大きな笑いに包まれたかと思えば、下級生の深い思いに6年生が涙を流す場面もあり、胸が熱くなるひとときとなりました。

全校児童による「ジャンケン列車」では学年を越えて大盛り上がり！ 最後には6年生が各学年へ感謝の言葉を述べ、卒業式で歌う合唱を披露してくれました。全校が一つになり、会場全体が優しく温かい空気に包まれた素晴らしい時間となりました。



3年生



4年生



2年生



1年生



5年生



6年生

地域とともに育つ子どもたち ～学校評議員会を開催～

2月24日（火）、今年度2回目となる学校評議員会を開催いたしました。今回は評議員の皆様、昼休みと掃除の時間から子どもたちの様子をご覧いただきました。

運動場で元気に駆け回る姿に、「これほど多くの子が外で遊んでいるのは頼もしいですね」と感心のお声をいただきました。その後の学校保健委員会にもご参加いただき、以下のような嬉しい評価を頂戴しています。

- 「保健委員会の取り組みが、全校児童にしっかり浸透していて素晴らしい」
- 「特に1年生はこの一年で目を見張るほどの成長を遂げた」
- 「学校外でも子どもたちが明るく挨拶を返してくれる」

評議員の皆様からは、子どもたちの自主性や、地域の方々への感謝の心が育っていることについて、たくさんの温かな言葉をいただきました。これらの激励を糧に、今後も「地域とともに歩む学校づくり」に邁進してまいります。

